

第3次富山県観光振興戦略プラン（令和4年3月策定）に
基づき令和7年度に実施した施策の状況について



富 山 県

令和8年9月

第3次富山県観光振興戦略プラン（令和4年3月策定）に
基づき令和7年度に実施した施策の状況について

第3次富山県観光振興戦略プラン（元気とやま観光振興条例（以下「条例」という。）
第7条の規定により令和4年3月に策定）に基づき令和7年度に実施した施策の状況
について、条例第18条の規定により報告します。

令和8年9月7日

富山県知事 新 田 八 朗

目 次

I 新たな時代の観光への対応	1
1 関係人口創出に向けた裾野の拡大	1
(1) デジタル技術を活用した持続的な関係づくり	1
(2) インフルエンサーなど誘客の起点となるコアな富山ファンの創出	1
(3) 発地でのリアルな富山体験等による関係人口創出	1
2 ウェルビーイング・魅力の再発見とマイクロツーリズム定着	3
(1) 地元の魅力再発見・発信やふるさと教育による観光地域ブランディングの推進	3
(2) 暮らしを体験できる観光サービスの充実に向けた事業化支援と担い手育成	4
(3) マーケティングに基づく県民・近隣県民向け情報発信・誘客と観光コンテンツの充実	4
3 デジタル技術の活用	5
(1) 需要喚起・誘客促進のデジタルシフト	5
(2) デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化	5
(3) データを活用した効果的・効率的な観光地経営	5
(4) 顧客情報を活かしたリピーター確保と受入態勢整備	6
4 ウィズコロナへの対応	6
(1) 安全・安心の環境整備及び情報発信	6
(2) 「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの創出	6
II 持続可能な観光地域づくり	7
1 戦略的な観光地域づくり	7
(1) 県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり	7
(2) 観光を担う人材育成と地域における活躍促進	9
(3) 旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備	9
(4) 観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進	11
(5) 外国人個人旅行者（FIT）受入環境の整備	12
2 広域観光の拠点化	13
(1) 広域観光の拠点としての機能充実と情報発信	13
(2) 主要駅、富山きときと空港等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上	13
(3) 新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上	14
3 富山らしい魅力創出	14
(1) 「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上	14
(2) 「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ	17
(3) 富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成	18
(4) 「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備	21
(5) 体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開	21
(6) インバウンド客のニーズに対応した観光コンテンツの開発・磨き上げ	24

Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション	25
1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進	25
(1) 北陸新幹線敦賀開業・大阪延伸を見据えた戦略的なプロモーション	25
(2) 「富山ファン」に届く効果的な情報発信	27
(3) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携	30
2 海外誘客の推進	30
(1) 海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信	30
(2) 近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進	31
(3) 東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み	31
(4) 欧米豪の富裕層など新規市場の開拓	32
3 ビジネス観光誘客の推進	34
(1) ビジネス客向けの旅行商品の造成	34
(2) ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進	34
(3) ワークেশョン・ブレジャー等ビジネス観光の誘致	34
(4) 本県の特徴等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致	34
(5) 富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案	35

【 参 考 】

「第3次富山県観光振興戦略プラン（令和4年度～8年度）」に掲げる目標値

I 新たな時代の観光への対応

1 関係人口創出に向けた裾野の拡大

(1) デジタル技術を活用した持続的な関係づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
Web マーケティングによるデジタル情報発信事業 (27,426 千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、Web 広告・SNS 等を活用し、Web マーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
インバウンド向け情報発信事業 (12,318 千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HP と SNS の一体的かつ効果的な運用・情報発信及び富山県の観光資源等を PR する外国語パンフレットを制作した。	観光振興室

(2) インフルエンサーなど誘客の起点となるコアな富山ファンの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
Web マーケティングによるデジタル情報発信事業（再掲） (27,426 千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、Web 広告・SNS 等を活用し、Web マーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
J R 連携富山ファン創出事業 (21,573 千円)	首都圏・関西圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、J R と連携した情報発信や誘客を行った。 ・ J R 東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・首都圏・関西圏の主要駅での PR イベントの開催など	観光振興室

(3) 発地でのリアルな富山体験等による関係人口創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業 (43,659 千円)	富山・石川・福井情報発信拠点「HOKURIKU+ (ホクリクプラス)」において、観光プロモーションや寿司をフックにした観光 PR 等を実施し、本県の魅力を発信した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
中部・北陸広域 周遊促進事業 (5,243 千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズム E X P O ジャパン 2025」に中部圏 9 県共同ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
官民連携観光物 産展開催事業 (5,208 千円)	官民が連携し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。 ① 北陸三県との合同物産展「北陸信越展」(東武百貨店池袋店) ② 包括連携協定企業等と連携した物産展「富山県物産展」(日本生命) ③ J R 浦和駅「とやまの観光とうまいもの展」	観光振興室
首都圏魅力発信 強化事業 (6,000 千円)	首都圏メディアへのリリース配信や、人的ネットワークを活用した魅力発信、とやまの地域伝統芸能(おわら、麦屋節、こきりこ等)の披露や体験等による情報発信を実施することにより、首都圏での関係人口の創出を図った。 ・リリース配信 49 回 ・「富山の極味 in Tokyo」の作成・配布 ・首都圏イベント等でのとやまの地域伝統芸能の披露・体験等 6 回 など	首都圏本部
首都圏起点の全 国マーケティング in 日本橋とや ま館事業 (4,900 千円)	これまでの取組で積み上げてきた基盤・関係性を最大限活用して、首都圏での県産品の販路開拓の実施や富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施を通じ、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室
ご縁でつながる 関係人口創出事 業 (2,224 千円)	本県出身の偉人や、本県とのつながりを体感してもらい、関係人口の創出につなげるため、県産品の販売や誘客に加えて、本県とのゆかりが深い企業やイベントにおいて物産展や展示を実施した。 ・本県ゆかりの企業やイベントにおける物産展・展示等の実施 計 7 か所	企画室

2 ウェルビーイング・魅力の再発見とマイクロツーリズム定着

(1) 地元の魅力再発見・発信やふるさと教育による観光地域ブランディングの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
関係人口 1,000 万人協働促進事業 (3,571 千円)	県内のボランティア団体等が、他の団体や自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。 ・補助件数 17 件	県民生活課
文化財の美装化等推進事業 (3,258 千円)	重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町・吉久」の町並みの外観修理に対して、支援した。 ・補助件数 1 件	生涯学習・文化財課
世界遺産登録 30 周年記念「世界遺産サミット in 南砺」開催事業 (1,620 千円)	「白川郷・五箇山の合掌造り集落」世界遺産登録 30 周年を記念し、県、市等で構成する実行委員会による世界遺産サミットを開催した。 事業主体：世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」30 周年記念事業実行委員会 期日：令和 7 年 11 月 29 日（土）、11 月 30 日（日） 会場：なんとエナジー文化創造センターヘリオス（29 日）、平若者センター「春光荘」（30 日） 内容：講演・パネルディスカッション・首長サミット・ワークショップ・パネル展示	生涯学習・文化財課
県民ふるさとの日記念事業 (330 千円)	5 月 9 日の県民ふるさとの日に、県の施設の無料開放を実施した。また、県民ふるさとの日を記念し、立山カルデラ見学ツアーを開催した。 開催日：令和 7 年 7 月 31 日（木）、8 月 28 日（木）	観光資源活用室

（２）暮らしを体験できる観光サービスの充実に向けた事業化支援と担い手育成

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
とやま観光塾事業 (21,998 千円)	観光地域づくりや高付加価値化等の基礎知識の習得や、お客様に満足いただける観光ガイドの育成、地域資源を活かしてインバウンドツーリズムを企画・実施できる人材の育成を図った。 ・ 修了生 60 名 (内訳) - 高付加価値対応基礎コース 29 名 - 観光ガイドコース（上級専攻） 9 名 - 観光ガイドコース（インバウンド専攻） 18 名 - グローバルコース 4 名	観光振興室

（３）マーケティングに基づく県民・近隣県民向け情報発信・誘客と観光コンテンツの充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
持続可能な観光地域づくり支援事業 (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・ 補助件数 32 件	観光振興室
Web マーケティングによるデジタル情報発信事業（再掲） (27,426 千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、Web 広告・SNS 等を活用し、Web マーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
北陸三県サイクルツーリズム連携事業 (3,312 千円)	石川県、福井県と連携し、サイクルツーリズムを活用した観光誘客の促進を図るため、北陸三県デジタルスタンプラリーを開催した。また、大規模サイクルイベント（令和 8 年 3 月 CYCLE MODE RIDE OSAKA 2025）に三県で連携したブース出展等を実施した。	観光資源活用室

3 デジタル技術の活用

(1) 需要喚起・誘客促進のデジタルシフト

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
インバウンド向け情報発信事業 (再掲) (12,318 千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用・情報発信及び富山県の観光資源等をPRする外国語パンフレット制作を実施した。	観光振興室
首都圏起点の全国マーケティングin日本橋とやま館事業(再掲) (4,900 千円)	これまでの取組で積み上げてきた基盤・関係性を最大限活用して、首都圏での県産品の販路開拓の実施や富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施を通じ、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室
フォーカスとやまの農山漁村推進事業 (5,792 千円)	富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」及び関連SNSアカウントを運営し、県内農山漁村地域に係る情報発信を強化した。	農村振興課

(2) デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
持続可能な観光地域づくり支援事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室

(3) データを活用した効果的・効率的な観光地経営

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
データ分析・活用推進事業 (14,000 千円)	観光統計サイト「TOYTOS(トイトス)」など観光データの解析・分析・提供を行い、市町村や観光協会、観光事業者と連携しながら観光マーケティングを推進した。	観光振興室

(4) 顧客情報を活かしたリピーター確保と受入態勢整備

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
首都圏とやまの 魅力発信事業 (21,002 千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加等により、本県独自の魅力について情報発信を行った。	観光振興室

4 ウィズコロナへの対応

(1) 安全・安心の環境整備及び情報発信

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室

(2) 「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの創出

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室
ワーケーション・テレワーク 推進事業 (3,799 千円)	テレワークなど新しい働き方の変化に対応し、富山ならではのワーケーションを推進するため、戦略的なPRや県外企業・個人等への支援を実施した。 ・県内でのワーケーション実施者への助成利用者 38 名	企画室

Ⅱ 持続可能な観光地域づくり

1 戦略的な観光地域づくり

(1) 県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
データ分析・活用推進事業（再掲） (14,000 千円)	観光統計サイト「TOYTOS（トイトス）」など観光データの解析・分析・提供を行い、市町村や観光協会、観光事業者と連携しながら観光マーケティングを推進した。	観光振興室
訪日外国人観光客等の広域周遊状況調査・分析等事業 (8,050 千円)	訪日サイトに掲載するAIチャットボットを運用したほか、訪日外国人観光客の動向調査を実施し、富山県を訪問する訪日外国人観光客行動状況等を分析した。	観光振興室
地域におけるデータ収集等のための連携強化事業 (251 千円)	市町村や観光協会等とのDMO事業の調整や観光資源の磨き上げ・掘り起こし、観光情報の収集を行った。	観光振興室
富山県観光客動態調査（観光地点パラメータ調査）事業 (4,380 千円)	観光客の県内観光地の訪問地点数や観光消費額等の算定の基礎とするため、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
宿泊施設と連携したデータ収集・分析事業 (396 千円)	宿泊施設と連携しデータ収集・分析を行い、データに基づいた誘客施策を検討した。	観光振興室
観光マーケティング戦略会議運営等事業 (324 千円)	有識者、観光関係事業者等で構成する「観光マーケティング戦略会議」において、DMOの取組を報告し、方向性について意見聴取した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (240 千円)	DMOの取組について、関係者に理解を深めてもらうための講演会を開催した。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業（女性視座に基づくマーケティング事業） (13,111 千円)	観光誘客に重要である女性の立場・目線に立ったマーケティングを展開するため、富山県の観光・サービスを調査したほか、県内自治体や観光協会等を対象とした基礎講座、現地視察、個別提言等を行った。	観光振興室
データ分析・活用基盤づくり事業 (13,000 千円)	観光マーケティングをデータ主導型で行う基礎システムとなる、観光統計サイト「TOYOTOS(トイトス)」の機能強化や持続的な運用、データ収集方法の改善を図ったほか、本サイトデータを活用できる人材育成を目的とした講座を全8回開催した。	観光振興室
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (22,326 千円)	県内市町村・観光協会・観光事業者等をサポートしながら、着地型旅行商品を造成し、個人・旅行会社向けのプロモーション・販売・受付、精算業務等を実施した。	観光振興室
マーケティングデータに基づくPR事業 (13,811 千円)	とやま観光ナビの発信力強化、メディアやSNSを活用した富山の魅力を広く発信した。	観光振興室
富山県インバウンド観光実態調査事業 (3,190 千円)	訪日外国人旅行客の人流データを用いて県内におけるインバウンド観光の実態把握を行った。	観光振興室

（２）観光を担う人材育成と地域における活躍促進

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
とやま観光塾事業（再掲） (21,998 千円)	観光地域づくりや高付加価値化等の基礎知識の習得や、お客様に満足いただける観光ガイドの育成、地域資源を活かしてインバウンドツーリズムを企画・実施できる人材の育成を図った。 ・ 修了生 60 名 (内訳) - 高付加価値対応基礎コース 29 名 - 観光ガイドコース（上級専攻）9 名 - 観光ガイドコース（インバウンド専攻）18 名 - グローバルコース 4 名	観光振興室
とやま観光塾と連携した「富山のすしは、なぜ美味しいか」を紐解く出前講座実施事業 (1,590 千円)	とやま観光塾塾生等を対象に「富山のすしは、なぜ美味しいか」を紐解く出前講座を開催し、富山の寿司の魅力を語ることができる観光事業者の増加を図った。	政策推進室

（３）旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
富山県外国語観光サイン整備促進事業 (673 千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・ 外国語観光サイン整備（市町村補助事業） - 補助件数 新設 3 件 改修 15 件	観光振興室
持続可能な観光地域づくり支援事業（再掲） (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・ 補助件数 32 件	観光振興室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
ニューヨーク・タイムズを契機としたインバウンド対応支援事業 (4,115 千円)	ニューヨーク・タイムズ掲載により増加が見込まれるインバウンドに対応するため、富山市中心市街地の飲食店のインバウンドに対応した受入環境整備を支援した。 ・補助件数 8 件	観光振興室
旅館施設近代化等促進事業 (458 千円)	宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対する融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）により、宿泊施設の誘客力の向上を図った。 ・融資件数 継続分 1 件	観光振興室
クルーズ乗船客おもてなし向上事業 (13,412 千円)	寄港時の歓迎行事等、おもてなしに要する経費に対し支援を行った。 ・補助件数 9 件	観光振興室
国際クルーズ旅客受入機能高度化事業 (25,269 千円)	移動式屋根付き通路を整備することで、降雨や直射日光から乗船客を守り、クルーズ旅客の利便性の向上を図った。	港湾課
自然公園等整備事業等 (21,556 千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、立山黒部アルペンルート沿線や劔岳周辺登山道において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。	自然保護課
生活衛生関係営業施設における利用者サービスの向上に対する支援 (220 千円)	県内外からの宿泊利用者向けに、富山県内のホテル・旅館を一覧できるパンフレットを作成し県内の宿泊施設やホテル以外の生衛業種店舗に配置する事業に対し、補助を行った。	生活衛生課

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
有峰森林文化村 推進費 (50,538 千円)	豊かな森林を有する有峰において、利用者が有峰森林文化公園の魅力を体験できるような行事活動の推進及び宿泊施設である有峰ハウスや活動拠点施設である有峰ビジターセンターなどの適切な管理運営を行った。	森林政策課
県立都市公園の 整備・改修 (1,091,558 千円)	県民のみならず多くの県外観光客に憩いの場や、スポーツ・レクリエーションの場として利用される県立都市公園を整備・改修し、利用者の利便性向上を図った。 ・ 県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森	都市計画課 環境政策課
県立都市公園の 維持管理 (1,085,297 千円)	県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。 ・ 県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森	都市計画課 環境政策課

(4) 観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・ 補助件数 32 件	観光振興室
富山湾の魅力発信 事業 (90 千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」や富山湾を紹介するパネル展を開催し、富山湾の魅力を発信した。	観光振興室

(5) 外国人個人旅行者（FIT）受入環境の整備

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業（再掲） (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室
ニューヨーク・ タイムズを契機 としたインバウ ンド対応支援事 業（再掲） (4,115 千円)	ニューヨーク・タイムズ掲載により増加が見込まれるインバウンドに対応するため、富山市中心市街地の飲食店のインバウンドに対応した受入環境整備を支援した。 ・補助件数 8 件	観光振興室
富山県外国語観 光サイン整備促 進事業（再掲） (673 千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新設 3 件 改修 15 件	観光振興室
富山駅観光総合 案内所運営事業 (17,287 千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室
とやま名誉友好 大使の委嘱 (0 千円)	外国人の本県在住経験者に対し「とやま名誉友好大使」を委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致を促進した。 ・新規委嘱数 25 人	国際課

2 広域観光の拠点化

(1) 広域観光の拠点としての機能充実と情報発信

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
広域観光案内所 運営事業 (2,200 千円)	新幹線駅など県内2か所の広域観光案内所の運営に対し、支援を行った。	観光振興室
富山駅観光総合 案内所運営事業 (再掲) (17,287 千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

(2) 主要駅、富山きときと空港等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
ぐるっと富山観光地アクセス充 実事業 (13,416 千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の新幹線駅等を発着する観光路線バスの運行経費の一部に対し助成した。 ・補助件数 4件	観光振興室
新幹線アクセス 路線バス等運行 支援事業 (3,445 千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 2件	地域交通・ 新幹線政策 室
インバウンド空 港交通アクセス 等向上事業 (6,439 千円)	上海便を利用して来県する旅客の交通アクセスやおもてなしによる満足度向上を図るため、富山空港から富山駅へ直行する無料バスを運行した。	航空政策課

（３）新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
環水公園を中心とした復興エール事業 (17,324 千円)	富岩水上ラインとの連携や、学生等の企画力を活用したイベントを環水公園で開催した。 ・「サマーファウンテン」「ナイトクルーズ」「イルミネーション」などのイベントの実施 ・富山大学芸術文化学部と連携した復興応援企画など	観光資源活用室
富岩水上ライン利用促進事業 (1,237 千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図り、さらなる魅力向上や活力ある地域づくりを図った。 ・リーフレット・ポスターの作成やＳＮＳ等による情報発信 ・周辺店舗との連携 など	観光資源活用室
イタリア料理イベント開催事業 (2,974 千円)	県産食材を活用したイタリア料理を楽しめるイベントを富山市と共催し、県産食材の魅力発信とともに、料理教室や、富山駅での飲食、物販イベントを実施した。 ・Buono！＃とやまイタリアン 2025 令和 7 年 10 月 18 日、19 日 (出店：26 店、来場者 16,600 人)	観光資源活用室

３ 富山らしい魅力創出

（１）「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
黒部ルート携帯電話エリア整備事業 (1,462 千円)	黒部ルートの携帯電話基地局の運用を行った。	デジタル化推進室
立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000 千円)	立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
立山黒部アルペンルート除雪支援事業 (24,945 千円)	立山黒部アルペンルートで安定的に除雪を行うため、立山ルート除雪組合が所有する除雪機械の更新を支援した。	観光振興室
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (500 千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
観光地区開発整備費 (1,220 千円)	五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 1 件	観光振興室
立山山麓レクリエーション地区整備推進協議会負担金 (312 千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客及び広域観光の促進を図った。	観光資源活用室
世界遺産登録推進事業 (6,500 千円)	「立山砂防」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催 など	観光資源活用室
室堂周辺における Wi-Fi 運用事業 (1,671 千円)	室堂地区の山小屋等に整備した TOYAMA Free Wi-Fi の運用を行った。	デジタル化推進室、危機管理課
立山博物館の管理運営 (208,336 千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰等の歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展（2 回）の開催等により、立山の魅力を県内外に発信した。	文化振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (141,280 千円)	立山カルデラの自然・歴史や、100 余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。 博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について理解を深める体験学習会（12 回、259 人参加）を実施し、参加者に P R を行った。	砂防課
黒部・宇奈月誘客強化事業 (6,333 千円)	黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放・旅行商品化に向けた機運醸成を図るとともに、部分開通となっている黒部峡谷鉄道等の旅行商品の造成を支援した。 ① 黒部宇奈月キャニオンルート of 機運醸成に係る P R ② 黒部峡谷鉄道猫又駅における特別な体験や映像コンテンツを提供する旅行商品の造成支援	観光振興室
日本三霊山周遊促進・誘客拡大事業 (3,000 千円)	三霊山を有する三県の周遊の促進を図るため、三霊山をテーマとしたバイクラリーイベント「日本三霊山ラリー2025」を開催した。 ・期間：令和 7 年10月11日（土）、10月12日（日） ・実績：参加者数496人	観光振興室
立山博物館を中核とした文化観光拠点計画の推進 (43,266 千円)	文化観光拠点計画の認定を受け、立山エリアにおける文化観光を推進し観光誘客と地域活性化を図るため、拠点施設である立山博物館の情報発信や展示の磨き上げを実施した。 ・展示館 3 階の展示刷新（タッチパネル導入など解説展示の刷新、多言語化） ・高精細スキャンによる立山曼荼羅のデジタル化 ・立山黒部アルペンルート内の山荘・ホテル等におけるサテライト展示の実施 ・WEB サイト「オンライン立山博物館」の多言語化（中国語（簡体・繁体）、韓国語） ・動画コンテンツの制作・放映 等	文化振興室

(2)「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (907 千円)	富山湾の活用・保全に取り組む民間団体の活動を支援した。	観光振興室
持続可能な観光地域づくり支援事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室
富山湾岸サイクルツーリズム推進事業 (4,258 千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進等のため、「富山湾岸サイクリング 2025」を開催するとともに、県内サイクリング情報発信の手段として「とやまサイクルナビ」の保守運用や「とやまサイクリングマップ」の増刷等を実施した。	観光資源活用室
北陸三県サイクルツーリズム連携事業(再掲) (3,312 千円)	石川県、福井県と連携し、サイクルツーリズムを活用した観光誘客の促進を図るため、北陸三県デジタルスタンプラリーを開催した。また、大規模サイクルイベント(令和8年3月 CYCLE MODE RIDE OSAKA 2025)に三県で連携したブース出展等を実施した。	観光資源活用室
富山湾の魅力発信事業(再掲) (90 千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」や富山湾を紹介するパネル展を開催し、富山湾の魅力を発信した。	観光振興室
県民向け自転車普及啓発事業 (3,000 千円)	自転車のさらなる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及啓発イベント「Go!Go!サイクルとやま」を開催した。 ① 場所：グランドプラザ 日時：令和7年6月14日 10時～16時 参加者数約 1,500 人 ② 場所：三井アウトレットパーク 北陸小矢部 日時：令和7年10月4日 10時～16時 参加者数約 1,300 人	観光資源活用室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
サイクリスト実 態調査事業 (1,100 千円)	自転車ナビアプリケーションから取得できる走行実績データを利用し、富山湾岸サイクリングコース等におけるサイクリストの走行台数、走行経路などサイクルツーリズムに関する各種指標の調査・分析を実施した。	観光資源活用室
サイクリングコ ース整備事業 (41,250 千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。 ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備	道路課
海王丸保存活用 事業 (74,517 千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

(3) 富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室
地産地消の推進 (11,195 千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約 2,600 万件の応募)	市場戦略推進課
「とやま食の 匠」の認定・普 及 (140 千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し普及活動を積極的に行える個人や団体を、「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・講師派遣 13 回	市場戦略推進課

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
富山米のブランド力向上 (89,740 千円)	県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のための P R などにより、「富富富」など富山米の P R とブランド力向上を図った。 ・ S N S 広告の配信 期間：令和 7 年 10 月 1 日～11 月 30 日 表示：Instagram 約 260 万回、YouTube 約 140 万回 ・ テレビ C M の放映（県内 50 本、県外 101 本） ・ 「富富富フェア」の実施（県内 61 店、県外 55 店） ・ 「2 のつく日はみんなで富富富キャンペーン」の実施（9 回）	市場戦略推進課
「とやまグルメ・フードフェス」の開催 (17,251 千円)	「とやまグルメ・フードフェス」を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・ 富山産業展示館、令和 7 年 10 月 25 日～26 日 ・ 県内を中心に約 25,000 人が来場	市場戦略推進課
ふるさと認証食品（E マーク）制度の普及 (530 千円)	県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品（E マーク）」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。 ・ 令和 7 年度末 189 品 ・ E マーク食品販売フェアの開催 ① とやまグルメ・フードフェス出展（令和 7 年 10 月 25 日～26 日） ② とやま E マークフェア in 日本橋とやま館（令和 8 年 1 月 19 日～22 日）	市場戦略推進課
「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業 (2,000 千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、「富山のさかな」を含む県産食材の輸送経費を支援した。	市場戦略推進課
「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (2,857 千円)	「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。 ・ 認定品を紹介する H P で使用している Web サーバーの運用保守業務の実施	政策推進室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
地域文化力向上・活性化支援事業 (4,500 千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・補助件数 14 件	文化振興室
とやまの文化魅力発信・周遊促進事業 (1,855 千円)	本県が誇る、有形・無形の文化財や特色ある美術館・博物館などを周遊するツアーの造成等を支援するとともに、県の観光WEBサイトを通じた魅力発信を実施した。 ・補助件数 11 件	文化振興室
金岡邸・内山邸文化の魅力再生事業 (2,670 千円)	国登録有形文化財の金岡邸・内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。	文化振興室
とやまのお土産新ブランド創出事業 (7,260 千円)	「美・癒し」をテーマとしたブランド「美のこわけ」の販売及びブランド浸透のためのPR等を実施した。	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド地域資源活用事業 (19,840 千円)	産地の技術や農林水産品、観光資源等の地域資源を活用した新商品開発等を支援した。 ・採択件数 8 件	地域産業振興室
寿司のおいしさをひも解く富山旅事業 (7,600 千円)	ナイトタイムエコノミー等、宿泊促進に資するコンテンツや、リピーター獲得促進に資する、季節に応じたコンテンツなど、「寿司」を切り口とした体験型観光コンテンツの造成・販売を行った。	政策推進室

(4) 「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業（再掲） (22,326 千円)	県内市町村・観光協会・観光事業者等をサポートしながら、着地型旅行商品を造成し、個人・旅行会社向けのプロモーション・販売・受付、精算業務等を実施した。	観光振興室
とやま観光塾事業（再掲） (21,998 千円)	観光地域づくりや高付加価値化等の基礎知識の習得や、お客様に満足いただける観光ガイドの育成、地域資源を活かしてインバウンドツーリズムを企画・実施できる人材の育成を図った。 ・修了生 60 名 (内訳) 高付加価値対応基礎コース 29 名 観光ガイドコース（上級専攻）9 名 観光ガイドコース（インバウンド専攻）18 名 グローバルコース 4 名	観光振興室

(5) 体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
「富山で学ぼう！」教育旅行誘致促進事業 (2,875 千円)	県内事業者と旅行会社によるオンライン商談会の開催や、首都圏・関西圏・中京圏の旅行会社への出向宣伝を実施し、富山県への教育旅行の誘致を図った。	観光振興室
チームTOYAMA関係人口拡大推進事業 (1,237 千円)	スポーツチームの運営会社が取り組む富山の魅力PRや本県の関係人口の拡大に資する事業を支援し、観光振興を図った。 ・補助実績 3 団体	スポーツ振興課
マラソン大会開催事業 (96,420 千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、関係人口の拡大を図るため、「富山マラソン2025」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン2025の開催（14,855 名出走）など	スポーツ振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
県民向け自転車普及啓発事業 (再掲) (3,000 千円)	自転車のさらなる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及啓発イベント「Go!Go!サイクルとやま」を開催した。 ① 場所：グランドプラザ 日時：令和 7 年 6 月 14 日 10 時～16 時 参加者数約 1,500 人 ② 場所：三井アウトレットパーク 北陸小矢部 日時：令和 7 年 10 月 4 日 10 時～16 時 参加者数約 1,300 人	観光資源活用室
富山県自転車活用推進事業費補助金 (1,268 千円)	自転車の活用推進を図る事業のうち、「富山県自転車活用推進計画」に記載された施策の推進に資する事業に対して支援した。 ・補助件数 4 件	観光資源活用室
富山県美術館管理運営費 (535,968 千円)	アートとデザインとつなぐ美術館として、世界的コレクションを新しい切り口やテーマ、見せ方で紹介する富山県美術館において、常設展や企画展（6 回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興室
水墨美術館管理運営費 (185,388 千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（5 回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興室
高志の国文学館管理運営費 (219,564 千円)	本県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施し、越中万葉をはじめとした富山県の文学の魅力を県内外に発信した。 ・企画展（5 回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（24 回）	文化振興室
利賀芸術公園費 (287,473 千円)	利賀芸術公園における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い文化芸術を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「SCOT サマー・シーズン 2025」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育	文化振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
イタイイタイ病 資料館管理運営費 (53,859 千円)	イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、その教訓等を後世に継承するための施設展示や情報発信を実施した。 ・語り部による講話、企画展示 ・イタイイタイ病に関する資料の収集・保管	健康対策室
週末とやま農村 Life 推進事業 (4,715 千円)	富山県内の魅力的な地域資源を有効に活用し、農作業、農村暮らし、伝統文化の体験を通じた地域との交流を行う「週末とやま農村 Life」を開講し、農山漁村の活性化、富山県への関係人口を拡大・深化させることで将来的な二拠点化への促進を図った。 ・週末とやま農村 Life の開講（7 市町 全 8 講座）	農村振興課
とやま農泊ネットワーク推進事業 (8,746 千円)	富山県における農泊の広域的な展開・振興を目的として令和 4 年度に設立した「富山県農泊推進ネットワーク会議」を引き続き運営するとともに、農泊地域の人材育成や、県内の農泊地域への誘客を促進する取組を行った。 ・富山県農泊推進ネットワーク会議の開催（2 回） ・農泊地域間交流会（1 回）、研修（2 回）の開催 ・ツーリズム E X P O ジャパン 2025 への出展 ・農泊地域を周遊するプログラムの開催（1 回）	農村振興課
サイクリングコース整備事業 (再掲) (41,250 千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。 ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備	道路課
うるおいある景観づくり推進事業費 (6,334 千円)	地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。 ・景観づくり顕彰「うるおい景観とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援 ・市町村の景観づくりの普及啓発に対する支援 など	建築住宅課

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
「とやまグルメ・フードフェス」の開催（再掲） (17,251 千円)	「とやまグルメ・フードフェス」を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・ 富山産業展示館、令和 7 年 10 月 25 日～26 日 ・ 県内を中心に約 25,000 人が来場	市場戦略推進課
「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業（再掲） (2,000 千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、「富山のさかな」を含む県産食材の輸送経費を支援した。	市場戦略推進課

（６）インバウンド客のニーズに対応した観光コンテンツの開発・磨き上げ

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
欧米豪観光プロモーション事業 (38,454 千円)	欧米豪からの誘客促進のため、欧州及びアメリカに観光レップを設置し、情報発信とセールス活動を実施した。	観光振興室

Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進

(1) 北陸新幹線敦賀開業・大阪延伸を見据えた戦略的なプロモーション

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
J R 連携富山ファン創出事業 (再掲) (21,573 千円)	首都圏・関西圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、J R と連携した情報発信や誘客を行った。 ・ J R 東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・ 首都圏・関西圏の主要駅での P R イベントの開催など	観光振興室
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (13,000 千円)	北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るとともに、北陸デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーンでの誘客を促進するため、北陸三県と J R の連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。 ・ 観光素材説明会の開催 ・ 観光情報誌「北陸物語」の発刊 など	観光振興室
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500 千円)	北陸への誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などにより協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・ 北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・ 北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光振興室
飛越能経済観光都市懇談会負担金 (100 千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源の P R 等を行い、広域観光の促進を図った。 ・ 金沢エリアにおける観光プロモーション事業 ・ 観光ポータルサイトの構築運営 など	観光振興室
(公社) 日本観光振興協会負担金 (718 千円)	(公社) 日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対して支援した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
(公社) 日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200 千円)	(公社) 日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等による国内旅行ポータルサイト「J A P A N 47 G O」及び同更新システムの運営を支援した。	観光振興室
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600 千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。 ・北陸三県の観光ホームページ「北陸物語」の更新 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など	政策推進室
メディア連携情報発信事業 (2,350 千円)	北陸新幹線の敦賀延伸や北陸D Cを機に、メディアを活用した情報発信の強化を図るため、市町村等と連携して首都圏メディアへの情報発信等を実施した。 ・メディア向け情報発信の手法を学ぶ研修会の実施	観光振興室
北陸三県連携プロモーション事業 (10,000 千円)	メディアを活用した情報発信など北陸三県が連携して様々なプロモーションを展開した。 ①メディア向け情報発信（国内メディア向け2回、在日外国人向け1回） ②旅行会社と連携した情報発信及び周遊旅行商品の造成 ③北陸三県観光案内所等合同勉強会の開催 ④北陸三県共通の魅力である地酒をテーマとした周遊企画 ⑤観光P R 動画制作・素材収集	観光振興室
関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業（再掲） (43,659 千円)	富山・石川・福井情報発信拠点「H O K U R I K U + (ホクリクプラス)」において、観光プロモーションや寿司をフックにした観光P R等を実施し、本県の魅力を発信した。	観光振興室

(2)「富山ファン」に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
官民連携観光物産展開催事業 (再掲) (5,208千円)	官民が連携し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。 ① 北陸三県との合同物産展「北陸信越展」(東武百貨店池袋店) ② 包括連携協定企業等と連携した物産展「富山県物産展」(日本生命) ③ JR浦和駅「とやまの観光とうまいもの展」	観光振興室
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (再掲) (500千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
「いきいき富山館」管理運営事業 (27,078千円)	東京のアンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等の開催により、本県の物産・観光の魅力を首都圏に発信した。 ・各種特産品フェア、実演販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室
中部・北陸広域周遊促進事業 (再掲) (5,243千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズムEXPOジャパン 2025」に中部圏9県共同ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	本県への誘客や特産品販売の拡大を図るため、北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施した。	観光振興室
パンフレット等を活用したとやまの観光魅力発信事業 (5,745千円)	本県への誘客を図るため、県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラストMAP」や、富山県の魅力ある観光資源を県外向けに発信するとともに県内事業者のおもてなしの機運を醸成する「富山で休もう。」ポスターを作成・配布した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
Web マーケティングによるデジタル情報発信事業（再掲） (27,426 千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、Web 広告・SNS 等を活用し、Web マーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (46,390 千円)	(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)	観光振興室
首都圏情報発信拠点運営事業 (25,671 千円)	首都圏において本県の魅力をPRするため、物販、飲食、観光・定住・UIJ ターンに係る情報提供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なライフスタイルを発信した。 ・令和7年度来館者数：約28万8千人 ・令和7年度売上げ：約4億円	観光振興室
首都圏とやまの魅力発信事業（再掲） (21,002 千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力を発信した。	観光振興室
首都圏観光・定住促進事業 (13,201 千円)	本県への観光・定住を促進するため、日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。 ・令和7年度相談対応：延べ約1万6千人	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
首都圏魅力発信 強化事業 (6,000 千円)	首都圏メディアへのリリース配信や、人的ネットワークを活用した魅力発信及びとやまの地域伝統芸能（おわら、麦屋節、こきりこ等）の披露や体験等による情報発信を実施することにより、首都圏での関係人口の創出を図った。 ・リリース配信 49 回 ・「富山の極味 in Tokyo」の作成・配布 ・首都圏イベント等でのとやまの地域伝統芸能の披露・体験等 6 回 など	首都圏本部
関係人口創出に 向けた情報発信 事業 (18,521 千円)	本県の認知度向上と良質なイメージ形成を図り、関係人口の増加に向け、富山県の魅力を発信するオウンドメディア「doors T O Y A M A」の記事コンテンツの追加及び動画コンテンツの作成により、県内外へ富山の魅力を発信した。 ・コンテンツ制作 9 本 ・動画コンテンツ制作 39 本	政策推進室
ワクワクとやま 応援寄附金 (92,710 千円)	一定額以上のふるさと納税（寄附）者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源の P R を行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・ホームページでの P R ・寄附金額に応じ、アイスクリームスプーン、地酒ほたるいか詰合せ、旅行電子クーポン等を贈呈 【寄附件数：5,728 件、寄附金：184,465 千円】	税務課
「富山のくすり」宣伝事業 (2,150 千円)	（一社）富山県薬業連合会が実施した日本橋とやま館（東京都）において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援するなど、配置薬の魅力を発信した。 ・配置薬・富山のくすり関連雑貨の販売、売薬資料の展示 令和 8 年 2 月 20 日～26 日	くすり振興課
富山・高山イン バウンド周遊促 進事業 (10,857 千円)	富山と高山の周遊を促進するため、ジャパンレールパスを活用した P R や引換窓口スタッフ向けの研修、インフルエンサーによる情報発信等を実施した。	観光振興室 地域交通・新幹線政策室

(3) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
映画を活用した 観光PR事業 (2,719 千円)	本県が舞台となった映画の公開にあわせて、ロケ地 富山の魅力や観光情報を発信した。	観光資源活 用室
木曾義仲・巴御 前魅力発信事業 (653 千円)	越中富山を舞台に活躍した「義仲・巴」のゆかりの 史跡を巡るバスツアーの開催などにより、「義仲・巴」 を活用した観光振興を図った。 ・埴生護国八幡宮などの史跡を巡る史跡探訪バス ツアーの実施	ワンチーム とやま推進 室

2 海外誘客の推進

(1) 海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
欧米豪観光PR イベント開催事 業 (39,548 千円)	欧米豪からの高付加価値旅行者の誘客につなげるた め、米国及びフランスで、富山の豊かな自然、食、歴史 文化、人々の暮らしなど本県の多彩な魅力を発信する観 光プロモーション等を実施した。 ① 米国・ニューヨークにて富山の観光の魅力をPR 〔実績〕開催日：令和7年11月12日～18日 会 場：在ニューヨーク日本国総領事公邸、 Japan Village ほか 参加者：累計 830 名 ② フランス・パリにて富山の観光の魅力をPR 〔実績〕開催日：令和8年2月5日～7日 会 場：iRASSHAI 参加者：累計 60 名	観光振興室
インバウンド向 け情報発信事業 (再掲) (12,318 千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの 一体的かつ効果的な運用・情報発信及び富山県の観光資 源等をPRする外国語パンフレット制作を実施した。	観光振興室

（２）近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
広域連携観光プロモーション事業 (13,707 千円)	近隣県や民間事業者と連携し、メディア・インフルエンサー招聘による情報発信や現地旅行博への出展等により、広域観光周遊ルートの形成促進を図った。 [主な実績] ・台湾の旅行会社・メディア招聘 ・韓国のメディア招聘、情報発信 ・タイへの情報発信、現地旅行博出展 ・インドネシア現地旅行博出展 ・北陸新幹線沿線自治体と連携した海外向け情報発信、都内でのセミナー・商談会 ・県内でのインバウンドカフェ（セミナー）開催 など	観光振興室
(一社) 中央日本総合観光機構負担金 (3,000 千円)	中部 9 県 3 市の観光事業に関する中枢機関である（一社）中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源の P R 等を行い、広域周遊の促進を図った。	観光振興室
富山・高山インバウンド周遊促進事業（再掲） (10,857 千円)	富山と高山の周遊を促進するため、ジャパンレールパスを活用した P R や引換窓口スタッフ向けの研修、インフルエンサーによる情報発信等を実施した。	観光振興室 地域交通・新幹線政策室

（３）東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
東アジア・東南アジア誘客促進事業 (2,470 千円)	東アジア・東南アジアからの誘客促進のため、現地セールス及び海外レップによるコンサルティング業務を実施した。	観光振興室
国内ランドオペレーター向け誘客促進事業 (5,168 千円)	インバウンド誘客の拡大に向け、首都圏等のランドオペレーターに対するセールスや県内視察等を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
広域連携観光プロモーション事業（再掲） (13,707 千円)	近隣県や民間事業者と連携し、メディア・インフルエンサー招聘による情報発信や現地旅行博への出展等により、広域観光周遊ルートの形成促進を図った。 [主な実績] ・台湾の旅行会社・メディア招聘 ・韓国のメディア招聘、情報発信 ・タイへの情報発信、現地旅行博出展 ・インドネシア現地旅行博出展 ・北陸新幹線沿線自治体と連携した海外向け情報発信、都内でのセミナー・商談会 ・県内でのインバウンドカフェ（セミナー）開催など	観光振興室
大連事務所運営費 (25,259 千円)	富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点に、観光振興のためにオンラインを含めた各種取組を展開し、アフターコロナにおける中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「天皇誕生日祝賀レセプション」、事業者による特産品のオンライン紹介販売等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR など	国際課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (38,000 千円)	令和4年3月に策定した「とやま輸出ジャンプアップ計画」の目標達成に向けて、とやま輸出コミュニティにおいて輸出に関心のある事業者を対象としたセミナーを開催するほか、リーディングプロジェクトや地域商社を中心とした輸出プラットフォームの構築に取り組んだ。	市場戦略推進課

（４）欧米豪の富裕層など新規市場の開拓

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
欧米豪観光プロモーション事業（再掲） (38,454 千円)	欧米豪からの誘客促進のため、欧州及びアメリカに観光レップを設置し、情報発信とセールス活動を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
欧米豪観光PR イベント開催事業（再掲） (39,548 千円)	欧米豪からの高付加価値旅行者の誘客につなげるため、米国及びフランスで、富山の豊かな自然、食、歴史文化、人々の暮らしなど本県の多彩な魅力を発信する観光プロモーション等を実施した。 ① 米国・ニューヨークにて富山の観光の魅力をPR 〔実績〕開催日：令和7年11月12日～18日 会 場：在ニューヨーク日本国総領事公邸、 Japan Village ほか 参加者：累計 830 名 ② フランス・パリにて富山の観光の魅力をPR 〔実績〕開催日：令和8年2月5日～7日 会 場：iRASSHAI 参加者：累計 60 名	観光振興室
国内ランドオペレーター向け誘客促進事業（再掲） (5,168 千円)	インバウンド誘客の拡大に向け、首都圏等のランドオペレーターに対するセールスや県内視察等を実施した。	観光振興室
クルーズプロモーション強化事業 (27,451 千円)	船社・旅行会社への誘致活動の強化やクルーズ客船・外国人観光客誘致専門員の配置等により、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
インバウンド・ハイエンド層誘客促進事業 (13,287 千円)	インバウンド観光客のうち、特に消費の旺盛なハイエンド層をターゲットとした誘客を促進するため、ラグジュアリートラベルに特化した海外商談会に出展し、旅行会社へのセールスを実施した。 ・ ILTM Asia Pacific 2025（シンガポール） 令和7年6月30日～7月3日 ・ ILTM Cannes 2025（フランス） 令和7年12月1日～4日	観光振興室

3 ビジネス観光誘客の推進

(1) ビジネス客向けの旅行商品の造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
学会等開催事業 費補助金 (13,311 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 27 件	観光資源活用室

(2) ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (18,858 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 32 件	観光振興室

(3) ワークেশョン・ブレジャー等ビジネス観光の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
ワークেশョン ・テレワーク推 進事業(再掲) (3,799 千円)	テレワークなど新しい働き方の変化に対応し、富山ならではのワークেশョンを推進するため、戦略的なPRや県外企業・個人等への支援を実施した。 ・県内でのワークেশョン実施者への助成利用者 38 名	企画室

(4) 本県の特徴等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当室課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (1,462 千円)	I C C A (国際会議協会) のデータベースを活用し、国際会議の誘致を強化した。	観光資源活用室
(公財) 富山コンベンションビューロー補助金 (15,012 千円)	(公財) 富山コンベンションビューローの運営経費等に対し補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光資源活用室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
コンベンション 指導情報提供業 務委託事業 (5,000 千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光資源活用室
コンベンション 誘致促進事業 (2,676 千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。	観光資源活用室
コンベンション 誘致宣伝事業 (1,084 千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。 ・第35回国際MICEエキスポ(IME2026) 令和8年2月12日	観光資源活用室
誘致訪問活動& フォローアップ 調査事業 (1,309 千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。	観光資源活用室
富山国際会議場 運営費補助金 (126,630 千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光資源活用室
学会等開催事業 費補助金(再掲) (13,311 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 27件	観光資源活用室

(5) 富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担当室課
コンベンション 誘致宣伝事業 (再掲) (1,084 千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。 ・第35回国際MICEエキスポ(IME2026) 令和8年2月12日	観光資源活用室